

総領事館だより

着任のご挨拶

今年3月初旬、在ペナン日本国総領事館に外務省から着任いたしました河嶋(カトウ)と申します。主に当館担当6州(ペナン州、ペラ州、ケダ州、ペルリス州、クランタン州及びトレンガヌ州)にお住まいの皆様への奉仕者という立場から、信頼される総領事館員として、皆様のために、皆様とともに、との使命感を以って職務を邁進して参りますので、宜しくお願い致します。現在、当館におきましては、皆様の海外生活におけるご要望に出来る限り沿えるよう、現地スタッフを含め総勢20人が勤務しております。普段より何気なくお気づきの点などございましたら、何なりとお気軽にお尋ねください。当然の事ではあります、皆様方の個人情報漏洩するなど努めないよう、厳秘でご相談を承ります。

さて、私自身は、ちょうど米ソ冷戦が終焉間際の、イデオロギー闘争から地域紛争へシフトする最中に外務省に入りました。幸いなことに、これまで自宅の寝室屋根に砲弾が落ちてきたり、通りのあちこちで銃撃戦の音が聞こえるような勤務地はございませんでしたが(そのためか、諸先輩からは「変わらぬ若造書生」と揶揄われますが)、故エリツィン・ロシア連邦大統領が連邦議会議長立て籠る議会(国会)に砲弾を撃ち込む直前の戦車が猛スピードで現場に向かうところを、地下鉄出入口から目撃したり、警察の目を盗んで多勢で襲ってくる〇〇族に幾度となく所持品をひったくられそうになったり、ショーケースにしか置いてない食べ物を身振り手振りで店員さんから何とか手に入れてその日を過ごすという思い出はございます。現総理や大臣のような、そろそろ200か国訪問の大台というセールス目標は求められておりませんが、とりあえず自分なりに公私にわたり61か国を歩き来ました。そうした中で一寸感じますのは、お互いにどのような柵の中で生きていても、たとえ言葉がうまく通じなくても、喜怒哀楽の気持ちを通わせる事はできるのではないかという望みです。こうした望みを実現する場として、当任地でも働かせていただいております。

などと堅苦しい話に終始しておりますが、私のマレーシアの訪問は、2008年目前のNHK紅白歌合戦をランカウイ島ホテルで家族鑑賞して以来、凡そ11年ぶりです。ただ、今回赴任拠点となりましたペナン州は初めて参りました。ということ事もありまして、見る物、聞く物、驚きの連続で数ヶ月が過ぎたような心持ちです。ここペナン島在住で何となく特異性を感じますのは、他の担当地域と比べ、私達北東アジア出身者がかなり多く見かけられる事です。何でも歴史的な経緯から、昨年2月に渋谷の劇場で妻と聴いた某シンガーソングライター作詩・作曲「我が祖国は風の彼方」や「国捨て」の歌詞を彷彿とさせる方々が大勢のようだとの事です。一方、私個人からしますと、そうした方々と顔が合う度に、かつて私が地方自治体の係長として担当した日系人受入事業で顔を合わせた日系人の様相をふと思い浮かべ、歴史と文化が混じり合う世界遺産とは何とも諸行無常なり、などと独り合点しているところです。どちらにいたしましても、当任地にて「ちょっと～振り向いて～みただけの異邦人～」などと誹られないよう、赴任を全うしていこうと思っております。

これからご挨拶差し上げます日下部副領事、佐久川派遣員共々、ご指導、ご鞭撻賜りますと幸いです。

着任ご挨拶

日本人会のみなさんはじめまして。平成31年4月19日、在ペナン日本国総領事館に副領事として着任いたしました日下部力(くさかべりき)と申します。

業務としては、主に警備業務を担当しております。当館管轄内にお住まいの在留邦人の方々が、ペナンで安心安全な生活を送れるような情報を随時提供していけるよう邁進していきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

海外での生活は今回が初めてで、目的地への移動や買い物ひとつするのにも悪戦苦闘の毎日をご過ごしております。ただ、長年悩まされている花粉症がこちらに在任中の間は、気にしなくてもいいのは個人的にはとてもうれしく思っています。また食べ物も口に合っており、道沿いのホーカーやショッピングモール内のレストランまで何を食べても外れが無いので、今の悩みはこのまま体が肥大し続けることと、自炊の数が激変するのではと懸念しています。

まだ着任後数日しか経過しておりませんが、業務や私生活を通じて、ペナンには本当に多くの邦人の方々が来られていると感じております。異国の地で同じ日本の方々と接する機会をいただくことで、自分も負けてられないという刺激を受けるとともに、勝手に親近感を抱かせていただいております。

まだまだ若輩者の私ですが、日本人会の方をはじめ在留邦人の方々からのご指導ご鞭撻いただけると幸いです。また、この令和元年がみなさまの幸ある一年であることを祈念いたしまして、私の着任の挨拶とさせていただきます。

3月8日に在ペナン日本国総領事館に着任いたしました佐久川七星(ななせ)と申します。今回初めての海外勤務、初めてのマレーシアとあり、少し緊張や不安はありましたが、私の生まれ育った沖縄と似た温暖な気候や、困っていると助けてくれる人々の温かさ、バラエティ豊かでリーズナブルなおいしい食事など、すでにペナンで過ごすこれからの生活にわくわくしております。

私の趣味はおいしい食事処を開拓していくことなので、アジア有数のグルメな町として知られるペナンでこれからどんな美味しいご飯を発見できるかとても楽しみです。また、出身が沖縄ということもあり、離島巡りなども友人や家族と愛犬を連れてよくしていました。マレーシアにはランカウイをはじめとする美しい離島が数多くあると聞いたため、ぜひ訪れたいと考えております。

不慣れなことも多く、至らない点多々ございますが、皆様の暖かいご支援を賜りながら日々精進していきたいと考えておりますので、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

皆様の益々のご発展を祈念しまして、着任の挨拶とさせていただきます。

令和元年5月14日

在ペナン日本国総領事館

派遣員 佐久川七星